

## 平成 30 年度

### 建築士会日田支部賛助会交流会の報告

(公社)大分県建築士会日田支部 広報部 秋 和夫

平成 30 年 10 月 26 日(金)午後 6 時 30 分より、銀の鈴(日田市中ノ島)に於いて、29 名の参加で賛助会交流会が開催されました。



(吉田部長による司会進行)



(鈴木支部長による挨拶)

交流会に先立ち日田市建築住宅課の貞清氏により、倒壊ブロック塀の講習会が行われました。

6 月 18 日に発生した、大阪北部地震により倒壊したブロック塀で、小学校 4 年の女兒が死亡した事故を受け、文部科学省は、全国の国公私立の小中高校など約 5 万校の塀を点検し、安全性に問題のある塀が約 1 万 2 千校にあることが判明しております。

日田市でも、かなりの数の危険なブロック塀が確認されており、現在その対応を検討しております。

<以下、講習の内容より>

建築物(建物のほかブロック塀も含む)が現在の耐震基準を満たしていないとしても、建築当時の基準を満たしていたものについては既存不適格として、建築基準法上は違法にはなりません。現在の耐震基準を満たしていない建築物を所有していたことにより、損害賠償責任や刑事責任が発生することがあります。古いブロック塀のほとんどはその危険性を有しています。こうした現状を踏まえ、自治体ではブロック塀の撤去や改修、造替えを勧めています。平成 31 年度には、日田市でもブロック塀補強のための補助金も検討しています。



(講習を行う貞清氏)



(質問をする参加者)



(会場の様子)

(公社)大分県建築士会日田支部は、建築士支部会員と 32 社の賛助会によって構成されています。賛助会とは、(公社)大分県建築士会日田支部の活動趣旨に賛同活動している企業です。4 年前より、支部会員や賛助会員同士の交流や話題発掘のため、アピールタイムで、賛助会企業の事業内容や新製品の発表を行っております。

引き続き、参加者全員による懇親会で親睦を深めました。落ち着いた雰囲気のお店ですが、ビールを片手に食事をしながら、会員同士で会話を楽しんでいました。賛助会との交流会は、親睦を深めることに加え、メーカーの新製品や企業の取り組みを知るための重要な場になっております。今後とも、多くの人たちと知り合い勉強していけるよう努力していきたいと思っております。



(懇親会の様子)

#### 《報告後記》

6 月 18 日に発生した大阪北部地震で大阪府高槻市の小学校のブロック塀が倒れ、小学 4 年の女兒(9)が死亡した事故が発生した。震度 6 の地震で、市立寿栄(じゅえい)小学校の塀が倒れ、登校中の女兒が下敷きになって死亡した事故は、プールの基礎部分(高さ 1・9メートル)の上に 1・6メートルのブロックを積み上げた造りで、通学路に面したプールの目隠し代わりになっていた。1・2メートルを超えるブロック塀に補強用の「控え壁」の設置などを義務づけた建築基準法施行令に違反していた。(朝日新聞より引用)

女兒の登校中に起きてしまった痛ましい死亡事故ですが、天災なのか、人災なのかという議論もまき起こりました。同じような災害を起こさないようにするために、行政による指導は勿論ですが、設計・監理者による調査や確認と施工業者による補強は急務です。ブロック塀の所有者による危険な認識をより深めて頂くためにも、我々の知識を充実させていかなければなりません。

最後に、事業部の吉田部長は、準備と司会進行など大変お疲れ様でした。

(広報部長 秋より)